



地域を美しい環境へ

菊陽町シルバー人材センター「ボランティア清掃」

シルバー人材センター会員と職員ボランティア100人が10月18日、役場周辺道路などで清掃活動を行いました。この活動はシルバー事業の社会的意義を宣伝・周知することで町の発展に貢献したいという目的で毎年行われています。今年は役場周辺道路と小中学校通学路のごみ拾いや清掃を行い、道路がきれいになりました。参加した会員は「地域の美しい環境づくりを手伝うことができうれしい。次回もぜひ参加したい」と話していました。



▲ごみ拾いや清掃活動を行うシルバー会員と職員

酪農の方向性を探る

熊本市酪農農業協同組合婦人部全員研修

熊本市酪農農業協同組合婦人部のメンバーが10月5日、山都町にある山の未来舎(山口やよい代表)へ研修に行きました。

山の未来舎は6次産業の概念が世間に提唱される前から酪農や生乳加工品の製造、販売、レストランなどを経営。同社はチーズやソフトクリームミックス、菓子、低温殺菌乳などいろんな種類の生乳加工品の製造を行っています。組合婦人部は技術と乳製品加工について意見交換を行い、知識を深めました。



▲山口代表(下段中央左)と婦人部の皆さん

武蔵ヶ丘中が優勝

第23回菊陽町すぎなみ旗争奪中学校軟式野球大会

第23回菊陽町すぎなみ旗争奪中学校軟式野球大会が9月21日・23日、町民総合運動場を主会場に開催されました。今回で23回目の今大会には町内・町外(熊本市、菊池市、合志市、大津町)の中学校から13校が参加し、熱戦が繰り広げられました。武蔵ヶ丘中学校が優勝し、菊陽中学校が第3位に輝きました。

【優勝】武蔵ヶ丘中学校(菊陽町)

【準優勝】西原中学校(西原村)

【第3位】菊陽中学校(菊陽町) 七城中学校(菊池市)



▲一致団結して優勝を果たした武蔵ヶ丘中学校野球部

白球を追いかけ躍動!

第12回菊陽町すぎなみ杯争奪小学校軟式野球大会

第12回菊陽町すぎなみ杯争奪小学校軟式野球大会が9月6日、町民総合運動場で開催されました。この大会には町内の小学校などから3チームが参加。大会は3チームのリンク戦方式で行われ、選手たちは日ごろの練習の成果を十分に発揮し、好ゲームを繰り広げました。大会の結果は次のとおりです。

【優勝】KCブルースターズ

【準優勝】菊陽西小学校

【第3位】武蔵ヶ丘ドリーム



▲練習の成果を発揮し頑張りました

図書館ホールで巡る音楽の物語

第4回みんなできくよう♪コンサート

第4回みんなできくよう♪コンサートが10月25日、菊陽町図書館ホールで行われました。

このコンサートは(一財)地域創造の「公共ホール音楽活性化支援事業」の助成を受けて、菊陽町図書館ホールの自主文化事業として実施。コンサートに先立ち行われたアウトリーチ(地域交流)では、プロの打楽器奏者・野尻小矢佳さんが町内の小学校4校を訪れ、音楽の授業の中でミニコンサートを披露しました。子どもたちは、それぞれの学校で異なる野尻さんの演奏を聴きながら、コンサートで使う「絵」「曲」「音」の作品を夢中になって作っていました。

コンサートでは、さまざまな種類の打楽器を野尻さんが演奏。地元の演奏家や子どもたちが作った「絵」「曲」「音」の作品との共演や舞台と客席が一体となったボディーパーカッションもありました。また、音響効果を駆使した「エレクトロニクス」を取り入れた新曲が初めて演奏されました。訪れた多くの観客は趣向が凝らされた音楽の魅力満載のステージに魅了されていました。



▲演奏を聴きながらステージで使う絵を描く子どもたち



▲地元演奏家と共演した野尻小矢佳さん(右)

高校駅伝の選手たちのために

菊陽町造園協会「ボランティア清掃活動」

菊陽町内の造園業者有志でつくる菊陽町造園協会(小川誠会長)の会員12人が10月25日、久保田・津久礼地区の町道で路肩の草刈りやごみ拾いなどの清掃活動を行いました。この活動は、11月1日に開催された熊本県高校駅伝大会で選手たちが安全に競技できるように行われたものです。

暑い日差しの中、約4時間の作業が行われ、作業後には2トトラック3台分の草木やごみが集められました。道路が見違えるように美しくなりました。



▲町道をきれいに清掃する造園協会の皆さん

初出場でベストアマに

フンドーキン・レディース

女子ゴルフのステップアップツアー「フンドーキン・レディース」が10月1日・2日、大分県臼杵市で行われました。今大会はプロ99人とアマチュア8人の計107人が参加。今大会に初出場を果たした菊陽中3年の鍋島海良さんは13位と健闘し、アマチュアの一位・ベストアマに輝きました。鍋島さんは「とても緊張したけど、ギャラリーの応援を力にして自分のベストを尽くすことができました。プロになることを目標にこれからも頑張りたい」と話していました。



▲学校後だけでなく土日も練習をしている鍋島海良さん



声援を力に

第28回菊陽町にんじんの里マラソン大会

第28回菊陽町にんじんの里マラソン大会が11月2日、菊陽杉並木公園とその周辺で行われました。今大会には町内外から約700人が参加しました。

参加者は、2キロ・5キロ・10キロの3種目に分かれて菊陽杉並木公園をスタート。小学生から高齢者までさまざまな年齢層が自慢の健脚を競い合いました。当日は悪天候でのスタートでしたが、参加者は沿道からの声援を力に変えてゴールまで一生懸命走り抜けていきました。



▲鉄砲小路地区のきれいな生垣を望む道を走る参加者

大きい芋たくさん掘れたよ

優貴保育園「芋掘り」

優貴保育園の園児約80人が10月28日、同保育園南側の畑で芋掘りを楽しみました。

これは食育の一環で、園児の保護者から譲り受けた芋の苗を6月に園児たちが植えたものです。掘った芋は家に持ち帰ってそれぞれの家庭の味で食べたり、11月下旬に年長児が芋パイを作って食べたりします。

森川優良くんは「みんなで植えた芋が大きくなっていて良かった。大きい芋が7個掘れて楽しかった。家で焼き芋や天ぷらにして食べたい」と話していました。



▲大きく育った芋を懸命に掘る子どもたち

犯罪予防と青少年の育成

第50回九州地方更生保護女性大会

第50回九州地方更生保護女性大会が10月9日・10日、熊本市で行われ、菊陽町更生保護女性会と会長の村上緑さんが日ごろの活動を評価され表彰されました。

菊陽町更生保護女性会は女性の立場から犯罪予防と犯罪者や非行少年の更生保護に協力する活動を行っています。村上緑さんは「更生保護の活動を理解してもらうことが大切。犯罪件数は少なくなっているが再犯する人は多い。今後も次代を担う青少年の育成と再犯防止に力を入れていきたい」と話していました。



▲設立から52年を迎えた菊陽町更生保護女性会

誰もが安心して暮らせる町へ

認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座が10月17日に菊陽中学校、10月31日に武蔵ヶ丘中学校で行われ、両校合わせて449人の認知症サポーターが誕生しました。

町は認知症の人やその家族を理解し、地域で支える取り組みとして、認知症サポーター養成講座に力を入れています。生徒は認知症についての講義を聞き、先生たちによるクイズ形式の劇を鑑賞。認知症の人との関わり方を学びました。講座後には、認知症サポーターの証であるオレンジリングが配布されました。



▲先生による劇

▲真剣に発表を聞く生徒

限りなく広がる物語の世界

第25回菊陽町読書感想画コンクール

第25回菊陽町読書感想画コンクールの審査が10月31日、菊陽町役場で行われました。その結果、約4,000点の作品の中から30点の特選作品が選ばれました。作品は町内の小中学校8校の児童・生徒が夏休みの課題や授業で制作したものです。どの作品も見ただけで本の内容が思い起こされるほど生き生きと描かれていました。

▼受賞者一覧(敬称略)

学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名
小1	小牧 愛佳	菊陽南小学校	小4	緒方ひなの	菊陽中部小学校	中1	三村 彩乃	菊陽中学校
	高村 颯太	武蔵ヶ丘小学校		幸 那奈海	菊陽中部小学校		村上 穂佳	菊陽中学校
	大槻 柱統	菊陽西小学校		難波 和花	武蔵ヶ丘小学校		米丸 乃絵	武蔵ヶ丘中学校
小2	阿南 昌景	菊陽北小学校	小5	岡村 美咲	武蔵ヶ丘小学校	中2	相馬 大輝	菊陽中学校
	浦川 開	菊陽北小学校		北里 大地	武蔵ヶ丘小学校		木村 真瞳	武蔵ヶ丘中学校
	工藤 廉	武蔵ヶ丘小学校		中村 唯花	菊陽西小学校		中山 萌愛	武蔵ヶ丘中学校
小3	斎藤 風華	武蔵ヶ丘北小学校	小6	山田 太陽	武蔵ヶ丘北小学校	中3	吉永 優真	菊陽中学校
	鍋島 佳奈	菊陽中部小学校		はまた えりな	菊陽中部小学校		大淵 雄大	武蔵ヶ丘中学校
	井下 柚乃	菊陽西小学校		中武 凜	武蔵ヶ丘小学校		川勝 直輝	武蔵ヶ丘中学校
	梅田 倅菜	菊陽西小学校		川野 眞隆	武蔵ヶ丘北小学校		まつむら 優里	武蔵ヶ丘中学校



▲北里 大地(武蔵ヶ丘小5年) 書名「土のふえ」 絵の題名「村のために」
▲木村 真瞳(武蔵ヶ丘中2年) 書名「赤毛のアン」 絵の題名「赤毛のアンを読んで」

多彩な才能・頼山陽の魅力

頼山陽詩碑「発熊基」 建立80周年記念

ふれあい・いきいき漢学サロン主催の「頼山陽学処 菊陽」が10月19日、図書館ホールで開催されました。

頼山陽は約200年前に杉並木とその合間から見える阿蘇の景観を「発熊基」という詩に詠みました。この詩は町文化財「頼山陽詩碑」として旧57号線沿いに建てられています。講座では作家・見延典子さんが頼山陽の魅力を講話。参加者は漢学者、歴史家、文学者など多彩な才能を持ち、菊陽町にも縁のある頼山陽への理解を深めました。



▲頼山陽の魅力を語る見延典子さん

農業経営への刺激とヒント

第21回菊陽町担い手育成推進大会

第21回菊陽町担い手育成推進大会が10月24日、菊陽杉並木公園管理センターで開催されました。

大会では農業経営に関する講演会が開かれ、町認定農業者や若手農業者など約70人が参加。講演をした株式会社農テラスの山下弘幸代表取締役は「これからは商品力と営業力のバランスが求められる」と話しました。さらに「農業経営はそのバランスを保つために誰と組むかが重要」と説明し、参加者の農業経営に多くの刺激とヒントを与えていました。



▲農業経営について講演をする山下弘幸さん



犯罪被害者支援に尽力

菊池法人会菊陽支部が公開講座を開催

公開講座「国内における犯罪被害者支援の変遷と被害者支援活動の概要について」が11月10日、さんふれあで行われました。講座には26人が参加。講師のくまもと被害者支援センター長の北澤卓さんは「犯罪被害者を支援する組織があると知ってほしい。これからも被害者支援に力を尽したい」と話しました。きほう苑理事長の亀川美代子さんは「今回被害者について深く学ぶことができた。今後も町に貢献できる施設としていろんな面で協力していきたい」と話しました。



▲講演をするくまもと被害者支援センター長の北澤卓さん

菊陽と屋久島の友好の絆

姉妹都市盟約締結20周年記念植樹式

姉妹都市盟約締結20周年記念植樹式が11月8日、菊陽杉並木公園内の「屋久島の森」で行われました。植樹式には菊陽町と屋久島町の関係者約70人が出席。両町長を含む代表者6人が屋久島町から寄贈されたヤクナゴヨウの植樹を行いました。後藤町長は貴重な樹木の寄贈への感謝を述べるとともに「今後も両町の友好の絆が続いていくことを願っています」とあいさつ。屋久島の森には、この他に屋久島町自生のヤクナマシャクナゲなど50本の樹木が植樹されました。



▲植樹をする後藤町長(左)と荒木町長(中)、大塚議長(右)

親子で精進 心も体も強く

2014年少林寺拳法全国大会 in 埼玉

2014年少林寺拳法熊本県大会 in 八代が6月1日に行われ、庭田孝男さんと直弥さん(西小6年)が組演武の親子の部で見事1位に輝きました。少林寺拳法の組演武とは二人一組で攻者と守者の役割を演じるもの。二人は熊本県代表で11月3日にさいたま市で行われた全国大会に出場し、優秀賞を受賞しました。直弥さんは「小学1年生から少林寺拳法を始め、心も体も強くなった。大会では他支部の人たちと交流できて楽しい。これからも頑張りたい」と話していました。



▲優秀賞を受賞した庭田孝男さんと直弥さん親子

年に一度の晴れ舞台

第25回働く婦人の家講座発表会

第25回働く婦人の家講座発表会が10月25、26日に三里木町民センターで開催されました。来場者の皆さんは玄関口に講座ごとに紹介している講座中の写真にくぎ付け。展示の部では心を込めて作った作品の展示や茶道のお点前、切り絵とトールペイントの体験コーナーがあり、訪れた人を楽しませていました。発表の部では子どもたちがダンスや英語劇を発表。たくさんの講座生が日ごろの練習の集大成を披露して会場を盛り上げていました。



▲リズムダンス講座生全員のダンス

元気にすくすく育って

辛川地区の亥の子参り

辛川地区で100年以上続いている「亥の子参り」が11月12日、午後7時から同地区で行われました。これは小学1年生から中学2年生までの男の子がことし1年間に生まれた子の家庭を回り、石を地面について子の無病息災と子孫繁栄を祈る辛川地区の年中行事。ことしは男の子11人が昔から引き継がれている縄が巻かれた大きな石を持って4軒の家を回りました。

ことし頭になった菊陽中2年の三宅剛平さんが石を各家庭の玄関前へ運んだ後、みんなで大声を出しながら家の敷地前から玄関前へ走り、「わっしょい」と言いながら石を3回地面についていました。頭が石を玄関にいた後、国歌『君が代』を歌い、生まれた子どもの名前を呼んで万歳三唱。各家庭からは亥の子餅や菓子などが配られ、子の万病除去と子孫繁栄を祈りました。その後、男の子たちは元気な声で「わあー」と叫びながら各家庭を走り去っていきました。

三宅剛平さんは「緊張したけれど無事に終わってほっとしました。子どもたちが元気にすくすくと育つことを祈っています」と笑顔で話していました。



1石を玄関前で3度つく子どもたち 2国歌『君が代』を大声で歌う子どもたちとそれを見守る夫婦 3生まれた子どもの名前を呼んで大声で万歳三唱 4亥の子餅や菓子などをもらい、うれしそうな男の子

菊陽中初グランプリ

第47回熊日学生音楽コンクール合唱の部

第47回熊日学生音楽コンクール合唱の部本選が11月3日、県立劇場(熊本市)で行われ、菊陽中合唱同好会の14人が見事グランプリに輝きました。菊陽中合唱同好会はことし5月に結成。ピアノがないため選曲が限られた中で練習を積み重ねてきました。部長の屋宜祐李佳さんは「グランプリに選ばれた時はとても驚きました。良いホールなので声が響いて凄く気持ちよく歌うことができました。来年2月の大会もことし以上に頑張っていきたいです」と喜びを話しました。



▲伸び伸びと気持ちを込めて堂々と歌う菊陽中合唱同好会

プロの技を学べ!

菊陽“まち”遊び2014

菊陽町商工会主催の菊陽“まち”遊び2014が10月11日～11月30日、菊陽町全域で行われました。これは、菊陽町の農家や商工業者と一緒に町の魅力を体験できるイベント。50種類以上の体験があり、季酔宴さんりぎの女将が巻き寿司と手巻き寿司のレシピやこつを伝授するものもありました。巻き寿司作りに参加した古庄タミヨさんは「米や酢の分量、巻き方を習いながら作った。久しぶりに作ったが、うまくできたのでうれしい。家でも作りたい」と笑顔で話しました。



▲和気あいあいと巻き寿司作りのこつを学ぶ参加者



火災を初期段階で防ぐ

菊陽町消防団「非常呼集訓練」

菊陽町消防団の非常呼集訓練が11月9日、大野慶一郎団長の指揮の下、火災の発生を想定して菊陽杉並木公園で行われました。

この訓練は空気が乾燥し火災が発生しやすいこれらの季節に備えて早朝から実施。団員自らが火災発生の初期段階で正しい情報で適切な行動を取れることを目的に毎年実施されています。団員は本番さながらに集合場所に急行し、真剣な表情でホースを延長、放水をしていました。



▲真剣な表情で放水をする菊陽町消防団員

踊って歌ってリズムを取って

武蔵ヶ丘小学校「民族楽器に親しもう」

武蔵ヶ丘小学校の4年生109人が11月13日、同校の音楽室でマリ共和国(西アフリカ)の民族楽器に親しみました。講師はマリ共和国出身のトラオレ・ラミンさんと妻の山口由香さん。児童は民族楽器の演奏を聴いて実際に触れ、演奏に合わせてダンスをしたり、缶やペットボトルでみんなでリズムを取ったり歌ったりして楽しみました。児童は「体が飛び上がるほど楽しかったのでお母さんにも教えてあげたい。演奏するラミンさんはとてもかっこよかった」と話しました。



▲ラミンさん(右)が演奏する民族楽器に合わせて踊る児童

新年を迎える準備始まる

大原阿蘇神社でしめ縄づくり

新年を迎える準備として行っているしめ縄づくりが11月16日、大原阿蘇神社(新町)で行われました。

毎年、氏子5地区の宮総代が集まり、古いしめ縄を取り外し、わらをなべて新しいしめ縄に掛け直します。

ことしは一の宮阿蘇神社に大しめ縄を奉納している鎌倉善光さんかまくらよしみつを指導者に招き、5地区以外の宮総代も加わりながら、しめ縄の作り方を学びました。総代長の米村邦昭さんよねむらくにあき(新町)は「各地区のお宮に立派なしめ縄が飾られることを願っています」と話していました。

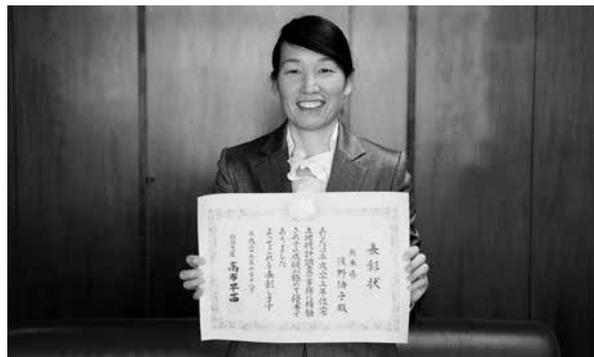


▲大原阿蘇神社に必要な7本のしめ縄をなう宮総代

これからも誠実な調査を

平成26年度熊本県統計功績者表彰式

平成26年度熊本県統計功績者表彰式が11月12日、熊本県庁で行われ、町内で統計調査員として登録されている濱野倫子さんはまのりんこ(宮ノ上)が総務大臣表彰を受賞しました。この表彰は統計調査に尽力し、業績が優秀な人の功労を称え、士気を高めることが目的。濱野さんは「表彰を機に一層身の引き締まる思いがします。いろいろな業種の人と会うたび、町について新たな発見があります。これからも誠実な調査に努めたいと思います」と話しました。



▲「協力してくれる皆様のおかげ」と話す濱野倫子さん